

「汚泥肥料の種類」入力画面の用語解説

汚泥コンポスト：汚泥を発酵させて製造した肥料

脱水汚泥：汚泥から水分を搾り取る機械等を使って脱水したもので、一般的には、コンポストや乾燥汚泥よりも水分を多く含みます。

乾燥汚泥：熱風などにより汚泥を乾燥させて製造した肥料。

副資材：汚泥を発酵させて肥料にする前に、水分や養分の調整の都合で、汚泥にそれ以外の原料を混ぜることがあり、そのように混ぜた原料を副資材と呼びます。モミガラ、おがくず等の植物質の原料が多く用いられます。肥料製品にモミガラ等が見えれば、それは副資材を含むコンポストです。

農集排：農業集落にあるし尿、生活雑排水などの污水等処理する施設。農業集落排水施設の略。

消化（メタン発酵）：不要となった汚泥を減量し下水処理場から運び出しやすくする事を目的として、汚泥を酸素のない条件で発酵分解させること。発酵により汚泥中の有機物が分解されるので、肥効も変化する。